

市河不二子 フタコ 紀行隨筆家、登山家。明治二十一年山梨縣生れ、  
昭和二十年四月歿（一八九一—九五）。舊姓河野。大正十一年東京女子大  
學國文學科卒業後、母校の圖書館に司書として勤務。山國育ちで夙に  
山旅を好み、『山の素顔』（昭和十七年刊）を著す。昭和十九年英  
語學者市河三喜と結婚後、旅行、登山を續けた。遺稿集に『山路の  
旅』（昭和二十一年一月十五白山と溪谷社）『山溪山岳新書』（）。